



第2回 ITS シンポジウム 2003

2003年12月6日(土)~8日(月)

会場：京都リサーチパーク サイエンスホール
京都府京都市下京区中堂寺南町 134
TEL075-322-7800
主催：ITS Japan

Final Program

協賛：
(社)計測自動制御学会、(社)交通工学研究会
(社)自動車技術会、(社)情報処理学会
(社)人工知能学会、(社)電気学会
(社)電子情報通信学会、(社)土木学会
(社)日本機械学会、(社)日本ロボット学会
情報処理学会 CVIM 研究会、情報処理学会 ITS 研究会
電子情報通信学会 ITS 研究会、電子情報通信学会 PRMU 研究会

本シンポジウムは土木学会 CPD プログラムとして認定されています。

12月6日(土)

*****開場***** (9:00 ~)

開会式(9:20 ~ 9:30)

司会：寺島 大三郎(ITS Japan 専務理事 事務局長)

実行委員長挨拶：飯田 恭敬(京都大学大学院 工学研究科都市社会工学専攻 教授)

O1:論文発表セッション 「事故・安全()」(9:30 ~ 11:00)

座長：上條 俊介(東京大学 生産技術研究所第3部 助教授)

牧野 浩志(国土交通省 国土技術政策総合研究所 主任研究官)

O1-1 複数のビデオカメラによる車両走行軌跡の連続観測(赤羽 弘和、畠中 聡志)

O1-2 ルールベースに基づくリアルタイム交通事象検出システムの開発と検証(原田 将弘、上條 俊介、坂内 正夫)

O1-3 ステレオビジョンを用いた三次元環境認識によるレーンマーカ検出(菅沼 直樹、泉田 啓、藤原 直史)

O1-4 M系列電波マーカを用いた再位置特定について(金 帝演、長谷川 孝明)

S1:特別講演「生活者にとって ITS とは何か」(11:10 ~ 12:10)

奥野卓司(関西学院大学 社会学部 教授)

どのようにすぐれた技術でも(と、開発者やメーカー、政策担当者が思っている)、それをユーザーである生活者が望まなければ普及することはない。また、生活者自身が(たとえば携帯電話のように)開発者が当初考えていた以上の使い方をして、新技術が大波のように普及していく場合もある。ITS も最終的には人々の生活の場で、歩行者やドライバーによって使われるシステムである以上、生活者が望む(潜在的に望まれている)ものにしていかねばならない。

講演では、近未来の生活者が自らの生活のなかで道路交通に何を期待し、クルマや電子メディアをいかに使おうとしているのかを解説しながら、生活者の立場から、ITS のあるべき姿を考えていきたい。

*****昼食***** (12:10 ~ 13:30)

O2:論文発表セッション 「交通マネジメント」(13:30 ~ 15:00)

座長：倉内 文孝(京都大学 大学院工学研究科都市社会工学専攻 助手)

吉井 正明(住友電気工業株式会社 システム事業部システム技術部 事業開発グループ長)

O2-1 近接配置ラインセンサカメラを用いた交通流計測(片原 俊司、青木 正喜)

O2-2 Street-Parking Vehicle Detection from Panoramic Laser Range-Image(Kiyotaka Hirahara, Katsushi Ikeuchi)

O2-3 車両検知用光ファイバ磁気センサ スマートリムの開発およびその試験結果

(池田 幸雄、佐鳥 耕自、砂原 秀一、池上 英雄、甲賀 一宏)

O2-4 一般道路を考慮した都市高速道路交通管理へのファジィ流入制御方法の導入(奥嶋 政嗣、秋山 孝)

P1:ポスターセッション (15:00~16:30)

座長: 三浦 純(大阪大学大学院工学研究科電子制御機械工学専攻 助教授)

- P1-1 画像処理を用いた危険物輸送車両検知装置の開発(内山 知大、柏木 崇臣、須藤 聡一)
- P1-2 拡張現実感技術による次世代ナビゲーションシステム VICNAS の構築(胡 振程、内村 圭一)
- P1-3 Probe 車の車両運動データによる冬期路面摩擦係数の逆推定(中辻 隆、宮坂 純平、川村 彰、前田 近邦)
- P1-4 自動車の安全技術に関する研究 - 二次事故防止システムの提案 - (大仲 英文、荒木 一雄)
- P1-5 安全運転管理教育システム(ASSIST)における出会い頭事故防止のための複数車両の管理
新しい自動車運転事故防止の理論に基づく管理・教育型 ITS
(合志 和晃、松永 勝也、勘場 基揮、志堂寺 和則、松木 裕二)
- P1-6 加速度の分布を用いた交通安全診断の考察(井上 健士、岸野 清孝、竹村 公一、青木 洋、伊藤 彰朗)
- P1-7 突発事象発生時における旅行時間に関する研究
(上野 秀樹、大場 義和、割田 博、森田 綽之、Edward Chung、桑原 雅夫)
- P1-8 予測型交通信号制御手法 SPROUT の拡張および試験運用(馬淵 透、中野 潤一)
- P1-9 仮想透過音像による運転者支援システムへの Java3D の適用(横井 利彰、山田 豊通)
- P1-10 インターネット ITS における車両間 P2P 通信のための通信メディア切替評価装置の開発
(齊藤 研次、蕨野 貴之、杉山 敬三、篠永 英之、西田 知弘)
- P1-11 時空間インフォーマティビティの概念による ITS 指向型交差点設計手法(鳩山 紀一郎、家田 仁)
- P1-12 冬期道路の高度情報提供システムの開発 ~ 広域情報提供サービスの実験 ~ (鈴木 武彦、松澤 勝、加治屋 安彦)
- P1-13 高速道路における 5.8GHz 帯の電波環境の検討 ~ 電波音波吸収壁・電波吸収舗装の効果検証 ~
(豊田 誠、橋本 修、若井 昌彦)
- P1-14 車列マッチングに GA を用いた旅行時間計測(高橋 聡、泉 隆、高橋 寛)
- P1-15 高速道路合流部における運転支援システムに関する研究 - ドライビングシミュレータによる実験的検討 -
(山田 将也、吉田 秀久、鎌田 崇義、永井 正夫)
- P1-16 道路用 Web 記述言語 RWML - XML による道路情報流通 - (加治屋 安彦、山際 祐司、工藤 康博)
- P1-17 現場急行支援システム中司 孝之、高柳 雄一、森 泰史、中間 保利、織田 利彦
- P1-18 道路交通情報の高度化に対応する直前の交通状況を考慮した統計的予測手法の研究
(割田 博、森田 綽之、桑原 雅夫、田中 淳)
- P1-19 動的情報依存度を考慮した交通情報提供効果のシミュレーション分析
(ピョン ワンヒ、飯田 恭敬、宇野 伸宏、金 周顯)
- P1-20 ACC による車間保持機能を活用した道路の効率的利用に関する基礎的研究
(下川 澄雄、森田 綽之、田沢 誠也、割田 博、佐藤 光)

S2:オーガナイズドセッション 「高齢者の運転支援」(16:30 18:00)

座長: 津川 定之(名城大学教授・産業技術総合研究所招聘研究員)

- S2-1 高齢者の移動と運転支援の概要 (吉本 堅一 防衛大学)
- S2-2 高齢者の移動(鎌田 実 東京大学)
- S2-3 高齢ドライバーの特性(蓮花 一己 帝塚山大学)
- S2-4 高齢ドライバーの運転支援 - NEDO 地域新生プロジェクトによる試み - (山本 新 名城大学)

12月7日(日)

*****開場***** (8:30 ~)

O3:論文発表セッション 「事故・安全()」(09:00-10:30)

座長: 赤羽 弘和(千葉工業大学 工学部建築都市環境学科学科 教授)
天野 肇(トヨタ自動車株式会社 ITS 企画部 交通システム開発室長)

- O3-1 走行支援道路システム実証実験(水口 賢、喜安 和秀)
- O3-2 AHS カーブ進入危険防止支援システムの実道検証(沖 良晃、山田 富美夫、関 義朗、水谷 博之、牧野 浩志)
- O3-3 認知モデルを用いたカーブ進入時における前方障害物衝突防止装置の定量解析
(岡部 康平、平岡 敏洋、西原 修、熊本 博光)
- O3-4 フォールトトレラントなステアバイワイヤ装置の信頼度評価(左 国坤、熊本 博光、西原 修、葉山 良平、中野 史郎)

O4:論文発表セッション 「交通情報」(10:40-12:10)

座長: 影沢 政隆(東京大学生産技術研究所 第3部 助手)
割田 博(首都高速道路公団東京管理局保全部調査課 主査)

- O4-1 CG モデル画像による教師画像を利用した車種認識の一手法(シャミラ モホッタラ、影沢 政隆、池内 克史)
- O4-2 プローブカーデータを用いた経路特定手法と旅行時間推定に関する研究(三輪 富生、境 隆晃、森川 高行)
- O4-3 車両感知器とプローブデータを組み合わせた旅行時間推定手法の実証分析(中村 英樹、王 銳)
- O4-4 累積交通量とアップリンク情報を用いた高速道路旅行時間の短期予測(堀口 良太、赤羽 弘和、尾高 寛信)

*****昼食***** (12:10 ~ 13:30)

O5:論文発表セッション 「交通計画」(13:30-15:00)

座長: 吉井 稔雄(京都大学大学院 工学研究科都市社会工学専攻 助教授)
村岡 清高(オムロン株式会社 交通ソリューション事業部 事業企画部 ITS担当部長)

- O5-1 ITSを活用したダイヤル・ア・ライドパスシステムの開発(浅田 光樹、谷口 栄一、安田 三治、尾崎 晃、長谷川 吉典、水内 賢治)
- O5-2 発生交通量を未知変数とした動的ネットワーク交通量推定モデルの構築(金 進英、倉内 文孝、飯田 恭敬)
- O5-3 移動体通信システムによる位置データを用いた行動パターンマッチング(羽藤 英二、寺谷 寛紀)
- O5-4 交通流シミュレータ DEBNetS を利用した OD 推定アルゴリズムの開発と検証
(加藤 義昭、小川 祐亮、藤井 聡、菊地 輝、北村 隆一)

P2:ポスターセッション (15:00-16:30)

座長: 西原 修(京都大学大学院 情報学研究科システム科学専攻 助教授)

- P2-1 経路選択基準に対する地図情報の定量的影響分析(平岡 敏洋、入谷 一耕、古荘 貴司、岡部 康平、熊本 博光)
- P2-2 スマートウェイのための道路路面情報収集技術に関する研究
(渡辺 賢一、景山 一郎、栗谷川 幸代、須田 義大、岩佐 崇史、後藤 友伯、川元 康裕)
- P2-3 準天頂衛星を利用した Position-based-ITS の提案(岩橋 努、澤本 潤、白井 澄夫、中島 務)
- P2-4 車両情報配信システム(高柳 雄一)
- P2-5 衝突予測による警告型安全運転支援システムにおける予測方法の性能への影響について(高取 祐介、長谷川 孝明)
- P2-6 スマートコミュニケーション基盤の研究開発(齊藤 万左巳、喜安 和秀)
- P2-7 車車間通信・路車間通信協調型 MAC プロトコル(藤村 嘉一、長谷川 孝明)
- P2-8 自動運転車専用道路トンネルの都市高速道路への導入可能性に関する交通シミュレーション(谷口 栄一、原田 智史)
- P2-9 利用者ニーズに対応した効果的なバス運行情報システムの検討(吉田 長裕、内田 敬、日野 泰雄、上久保 佑美、高橋 宏史)
- P2-10 除雪作業情報の提供手法に関する検討(吉江 誠吾、長浜 和実、松本 猛秀)
- P2-11 自動走行支援のための経路情報モデルの構築(蒔苗 耕司)
- P2-12 知的交通基盤におけるデジタル運転行動形成:その概念、アーキテクチャと特徴(王 武宏、平原 清隆、池内 克史)
- P2-13 冬期路面状態における Probe 車の車両運動データおよびパルス加速度による路面分類
(前田 近邦、川村 彰、中辻 隆、宮坂 純平、藤永 英樹)
- P2-14 地域 ITS 推進のための方法論の構築(岡村 健志、吉井 稔雄、轟 朝幸、吉村 浩司、熊谷 靖彦)
- P2-15 ステレオ画像センサを用いた車両速度の計測(村田 芳郎、麻生川 佳誠、阪本 禎宏)
- P2-16 水平レンジスキャンを利用した自己位置推定による三次元都市モデル構築
(小野 晋太郎、川崎 洋、平原 清隆、影沢 政隆、池内 克史)

P2-17 時空間画像を用いた車両画像列からのスペキュラ除去(阪野 貴彦、池内 克史)

P2-18 分割導電膜を用いた ETC/DSRC 用透明電波吸収体の開発

(山中 一克、原川 健一、正影 道裕、富樫 元康、星野 康、橋本 康雄、岩田 武夫)

P2-19 ドライバの協調動作が交通流に及ぼす影響(成田 秋洋、綱島 均、西 恭一)

P2-20 Panoramic-View- and Epipolar-Plane- Image Understandings for Street-Parking Vehicle Detection

(Kiyotaka Hirahara, Chenghua Zhu, Katsushi Ikeuchi)

P2-21 産官学連携「サステナブル ITS」プロジェクト

(池内 克史、桑原 雅夫、須田 義大、田中 敏久、Edward Chung、Staffan Nordmark、影沢 政隆、岩佐 崇史、田中 伸治、平沢 隆之、堀口 良太、白石 智良、花房 比佐友、石川 裕記、大貫 正明、織田 利彦、加納 誠、見持 圭一、坂井 蘭美、辻 求、古川 誠、本多 建、増山 義人、丸岡 勝幸、山本 隆嗣)

S3: オーガナイズドセッション 「観光と ITS」(16:30-18:00)

座長: 北村 隆一(京都大学大学院 工学研究科都市社会工学専攻 教授)

S3-1 都市型観光地 ITS の構築に向けて - 課題抽出(西井 和夫 山梨大学)

S3-2 歩行者ナビゲーションとそれによる観光産業への効果の検討(小川 寛一 NTT 西日本)

S3-3 広域観光 ITS の構築に向けて - e-街道の展開 - (加治屋 安彦 北海道開発土木研究所)

S3-4 中心市街地での歩行者ナビゲーションシステム - 御堂筋の事例(内田 敬 大阪市立大学)

バンケット(18:30-20:30) 東地区1号館1F アトリウム

12月8日(月)

*****開場***** (8:30 ~)

O6 論文発表セッション 「環境・エネルギー」(09:00-10:30)

座長: 中村 英樹(名古屋大学大学院 工学研究科地圏環境工学専攻 助教授)

牧村 和彦(財団法人計量計画研究所 交通研究室室長)

O6-1 車載型塩分濃度センサの開発(岩田 久志、山本 浩司、伊藤 清)

O6-2 CO2 排出量を最小化する信号パラメータ設定方法の構築(吉井 稔雄、西内 裕晶)

O6-3 共同利用型の貨物車運行管理システムの開発 - 実証実験による実用化に向けた評価 - (今西 周宏、小谷 通泰、吉井 正明)

O6-4 EPI 解析を利用した画像統合による都市空間のイメージベースレンダリング

(小野 晋太郎、川崎 洋、影沢 政隆、池内 克史、坂内 正夫)

O7 論文発表セッション 「人間・歩行者」(10:40-12:00)

座長: 田中 伸治(東京大学生産技術研究所 第5部 助手)

平岡 敏洋(京都大学大学院情報学研究科 システム科学専攻 助手)

O7-1 観光客向け歩行者ナビゲーションシステム(小川 寛一、若松 喜美、小藪 竜也)

O7-2 緊急時における旅客への情報伝達内容に関する基礎的研究(末松 孝司、外井 哲志、梶田 佳孝)

O7-3 歩行者ナビゲーションにおける位置特定基盤としての電波タグシステムの提案(岡本 篤樹、内田 敬、大藤 武彦、川端 莊平)

閉会式(12:00 ~ 12:30)

司会: 大竹 敏一(ITS Japan 企画部長)

優秀対話講演論文賞授与

プログラム委員長挨拶: 谷口 栄一(京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻 教授)

お問合せ先

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-11-4 西新橋立川ビル ITS Japan 企画部 小田康雄・丹野君子

TEL: 03-3519-2187 / FAX: 03-3592-0091 / E-mail: its-symposium@its-jp.net

